

NBJ 北海道ジュニアリーグ中学生軟式ドリームマッチ in 函館大会規定

1. トーナメント方式とし、試合球はナガセケンコー(株)製「健康ボールM号」とする。
2. 大会期間は10月18日(土)～10月19日(日)(予備日はございませんので、雨天時は中止とします。)
3. 試合は7回または90分で新しいイニングに入らないこととする。(後攻チームが攻撃中、勝っている時点でタイムアップとなった場合は試合を終了する。)
4. 規定時間及び回数までに勝敗が決着しない場合「特別延長ルール」を適用し、最長2イニングまで行うものとする。それでも勝敗が決しない場合は抽選で勝敗を決定する。
5. 「特別延長ルール」は無死走者1・2塁、打者は前イニングからの継続とし、走者はその打者からさかのぼった打順からそれぞれ1塁走者・2塁走者とする。
(例) 特別延長初回の攻撃、その前のイニングが4番打者で終わった場合、5番打者からスタートし、走者は1塁に4番打者、2塁に3番打者がそれぞれ塁につく
6. 5回以降7点以上の差があるときは、コールドゲームを採用する。
7. 試合開始後、雨等による試合の続行が審判員によって不可能と判断された時、5回表の攻撃が完了して、後攻チームが勝っている場合は、成立試合としてコールドゲームを宣言する。
8. ベンチに入れる者は、事前に登録されていえる代表・監督・コーチ・スコアラー・マネージャー・選手とする。スコアラー及びマネージャーは選手が兼ねることができる。
9. 投手の投球制限については、本大会1日7回までとする。
10. 試合の投球練習は最初に登板した時のみ5球とし、それ以降は3球とする。
11. ベンチは組合せ番号の若い方を一塁側とする。
12. 危険防止のため、捕手は試合、投球練習・ブルペンに関わらず必ずレガース・ヘルメット・プロテクターを着用すること。ファールカップも着用すること。

13. バッター及びランナーは必ずヘルメットを着用すること。(ランナーコーチもヘルメットを着用すること。)
14. 抗議は、監督だけが行うことができる。ただし、ストライク・ボール・アウト・セーフ・ボークに対する抗議は認めない。また、必要以上の抗議は認めない。
15. その他の競技規則は、全日本軟式野球連盟のルールに基づくものとする。
16. 試合前のシートノックは行いません。
17. オーダー交換は、第1試合目は試合開始予定時刻の30分前、2試合目以降は前の試合の4回終了時に本部席にて行います。オーダー用紙**3部**を持参ください。
18. ブルペンの使用は前の試合の4回終了後以降とします。
19. ボールボーイは当該チームにて、それぞれ自チーム側をお願いします。
20. 試合進行状況により試合開始時間を早めることがございますが、最大でも試合開始予定時刻より30分前までと致します。

NBJ 北海道 大会実行委員会

大会役員

大会長	大宮 陽太	(NBJ 北海道支部長)
-----	-------	--------------

大会実行委員

競技委員長	山内 祐司	(NBJ 北海道副支部長)
競技副委員長	花山 勇太	(NBJ 北海道理事)
審判部長	犬井 和也	(NBJ 北海道副支部長)

大会事務局

事務局長	渡部 十月哉	(NBJ 北海道理事)
------	--------	-------------